

平成30年度 事業計画

平成29年度事業の反省

- 日々改革による前例に捉われない自由な発想
 - 現場からの声が少ない(現場の声を吸い上げていない)
 - 管理職層の役割の不明確さ(職務分掌、組織体系)と更なる意識改革
- 増収施策の実施
 - 請求サービスの見直し
 - 計画的な開所日数
 - 多様化する利用ニーズへの対応
- 職員の安心と安定
 - 時間外削減の格差(部署、個人)
 - キャリアパス、キャリアデザインの不明確さによる中堅職員層の退職
- 将来を見据えた支援の実施
 - 事業所と家族との思いのすり合わせ
 - 個別支援計画の不十分さ

平成29年度経営の課題

- ◆外部環境の変化
 - 社会福祉法人制度改革への対応
 - 報酬単価の改正における情報収集と対応
 - 就労定着支援事業、自立生活援助事業の開始準備
 - 共生型社会(制度)への対応
 - 困難を極める人材(職員・メンバー)確保
- ◆内部環境の変化
 - 事務部門集約(法人本部機能をふっくりあへ)
 - 給食部門の一体化実施のための試行
 - 増収策に伴う生活介護系、就労事業系一本化の試行
 - 施設外就労の更なる拡大

平成30年度事業運営方針

- 日々改革による前例に捉われない自由な発想
 - 時代の流れ、あらゆるニーズを敏感にキャッチしチャレンジすること
 - 管理職層の職務分掌の明確化によるボトムアップ環境の整備
- 増収施策の実施
 - サービス内容を精査し、請求サービスの統一を図る
 - 「利用したい」と思える支援の提供(職員配置とスキルアップ)
 - 施設外就労の拡充と自主商品レベルアップと開発
- 職員の安心と安定
 - 職員の求める福利厚生を執行する
 - 個々におけるキャリアパスの作成とスキル、階層別教育(パート含む)の実施
 - 異業種間交流による人脈づくり
 - 学卒職員確保のための具体的行動
- 将来を見据えた支援の実施
 - メンバーひとりひとりの将来の姿(就労・生活)を見据えた支援計画の実践
 - ご本人、保護者の方々とのコミュニケーションの充実
- 新規事業(学校建設)に向けた準備

平成29年度事業収支計画

◆収支計画(予算)

単位:千円

H29年度予算(2次補正)		H30年度予算	
収入 395,608千円		収入 406,097千円	
福祉事業	292,016	福祉事業	290,690
就労事業	73,592	就労事業	80,407
取り崩し収入	30,000	取り崩し収入	35,000
支出 384,119千円		支出 392,389千円	
福祉事業	287,378	福祉事業	282,806
就労事業	61,641	就労事業	74,583
車両取得	5,100	取り崩し支出	35,000
取り崩し支出	30,000		
収支差 11,489千円		収支差 13,708千円	
福祉事業	4,638千円	福祉事業	6,815千円
就労事業	6,851千円	就労事業	6,332千円

◆考察

- 30年度計画は29年度予算と比較し、増収増益
- 新たに就労定着支援事業・サテライト型GHの実施
- 新規利用契約4名(移行2名、B型1名、生活訓練1名)
- 施設外就労充実による増収
- SSを中心とした利用負担の是正
- 職員のモチベーションを考慮した支出

事業推進重点施策

◆経営部門

- ～職務分掌・指揮命令系統・人材育成～*最重点
 - 就労部門、訓練部門、介護部門、事務部門、地域生活部門、相談部門、新規事業部門における分掌の作成
 - 常勤パート職以上の個々におけるキャリアパスの作成
 - 階層別研修計画の作成と実施

<施設外>

- ～施設外就労をびいはいぶに一体化(指揮命令)～*最重点

- 収支分析による見直しと利益率20%の向上
- 生活支援担当職員の指名(配置)
- 対応可能現場の拡大(職員・メンバー)
- メンバーのアセスメントを実施し一般就労への道をつくる
- 障がい特性にあった支援と環境づくり

<施設内>

- 作業量の安定確保(作業種目の見直しと新規開拓)
- 生活介護生産活動ありの方々への対応(活動場所と支援)
- 施設外就労へ繋げられるメンバーの養成
- 製菓製パン、利益率の向上と組紐の商品価値アップと新規商品開発

<就労定着>

- 契約者の確保
- 記録等の整備
- OB、OG会の開催

<訓練>

- 外部講師の積極的活用により座学を充実し、学校プログラムに反映する(移行・生活)

- 関係機関との連携(移行・生活)
- 個別支援計画に基いた個別訓練計画の作成と実施(移行・生活)
- 就労アセスメントの実施(生活)
- 長期休みの方への訪問支援(生活)

<介護>

- 介助・介護能力(特に身体)の向上
- グリーンライフプロジェクトの確実な実施
- トレーニング、レク、小行事の充実
- メンバー個々の能力の発掘
- 予防等勉強会(口腔、感染、熱中症、肥満等)の実施
- いがぐりプロジェクト参画(地域活動)
- 外部講師の積極的活用

<サテライト型GH>

- 「1人で暮らしたい」というニーズへの対応
- 緊急通報の対応整備
- 自立生活援助事業新設の検討

<相談>

- 売上目標達成のための応援体制の確立
- 身体、精神の方への確実な助言
- 相談員後継者の育成

◆事業・投資計画

- ①新規事業(学校建設)に向けた具体的行動・・・32,000千円
 - 四十九ミルボン様土地購入 土壌調査、解体見積り、基本設計、視察
 - 国庫補助申請準備
 - 学校プログラムの検討とパンフレット作成
- ②上野ひまわり改修・・・5,000千円
 - 厨房機器買換え、交換
 - 照明器具交換

*福祉充実残額発生の場合はふっくりあ改修又は学校建設へ充当